

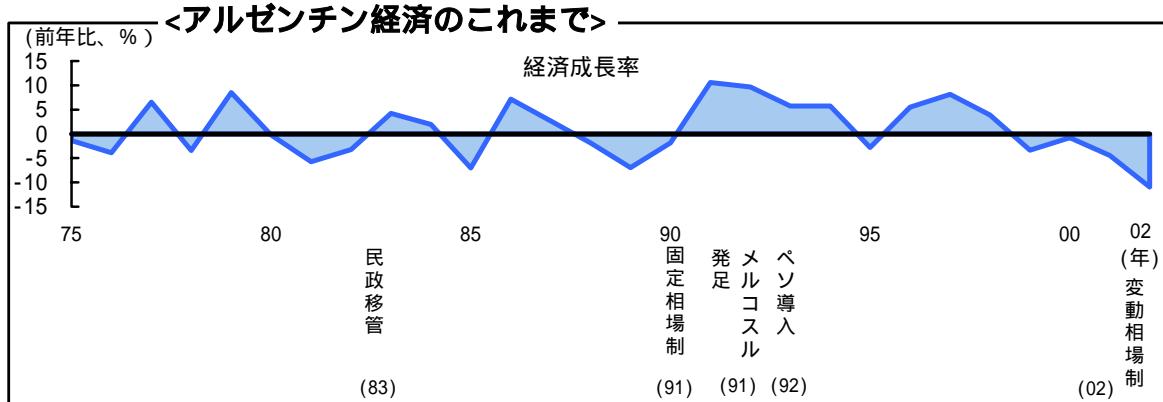
## 22 アルゼンチン

Republic of Argentina

<2002年>

人口	3,620万人 (日本の約1/3)	財政会計年度	1月～12月
一人当たりGDP	2,823ドル	為替制度	変動相場制(注)
産業構造(GDP構成比)	1次産業 6.5% 2次産業 25.2% 3次産業 68.3%	通貨	ペソ 1米ドル=3.1ペソ(注)
		面積	273.7万km <sup>2</sup> (日本の約7倍)

(注) 2002年2月より変動相場制に移行した。



### アルゼンチンの主要経済指標

		90年代 (91～00年)	2001年	2002年	2003年見通し			
			政府	E C L A C	I M F	民間機関		
実質GDP	前年比%	3.6	4.4	10.9	3.0	2.0	3.0	実質GDP
鉱工業生産	同上	0.3	7.6	5.9	-	-	-	平均 4.3
消費者物価	同上	14.9	1.1	25.9	-	-	22.3	最大 4.8
失業率	%	12.3	18.3	17.8	-	-	-	最小 4.0
経常収支	億米ドル	85.2	44.8	89.5	-	-	-	(全4社)
(GDP比)	%	(3.3)	(1.7)	(9.5)	-	-	-	
財政収支	億米ドル	34.7	87.4	1.0	-	-	-	
(GDP比, 年度)	%	(1.3)	(3.3)	(3.6)	-	-	-	
政府債務残高	億米ドル	624.9	-	-	-	-	-	
(GDP比, 年度末)	%	(24.0)	-	-	-	-	-	

(出所) アルゼンチン経済省、I M F "International Financial Statistics"、"Government Finance Statistics"。見通しは、「2003年度予算案」(2003年1月)、E C L A C (国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会)は "Balance Preliminar de las Economias de America Latina y el Caribe,2002" (2002年12月)、I M Fは"World Economic Outlook" (2003年4月)。

(注) 1. 鉱工業生産の90年代は94～00年の平均。  
2. 失業率は各年の10月調査の数値。

### <2002～2003年の経済>

2002年初、金融システムが崩壊し、経済破綻に陥った。政府はペソ切り下げ(変動相場制への移行)、歳出削減などの経済政策を打ち出し、経済の再建に取り組んだ。生産は激減、インフレは急騰、失業率も上昇した。2002年後半には、生産の下落に歯止めがかかり、インフレも減速し、為替レートも安定してきたが、政治的不安定の他、国際機関からの融資再開に関する調整が難航した。これらの結果、2002年の経済成長率は11%程度の大幅なマイナス成長となつた。

2003年に入り、I M F・世銀などの国際機関からの支援が再開された。政府は財政赤字削減をはじめとする経済改革を実施しており、2003年には経済成長率はプラスに転じ、3～4%程度と見込まれている。